

平成 22 年 7 月 12 日

企業イノベーションを支援するコンサルティング・プログラム

「電通 企業イノベーション・コンサルティング」を開発

—社内ソリューション各局が連携して、新しいコンサルティング・サービスを提供—

株式会社電通（本社：東京、社長：高嶋達佳）は、ハーバード大学経営管理大学院 竹内弘高教授、一橋大学大学院国際企業戦略研究科 大藺恵美教授を開発アドバイザーに迎え、ビジネスのあり方や企業行動及び企業文化を変革することにより企業の次なる成長と企業価値向上をもたらす企業イノベーションの実現を支援するための新しいコンサルティング・プログラム「電通 企業イノベーション・コンサルティング」を開発しました。

今後順次、クライアント企業の経営層、経営企画部門など企業戦略の窓口に対し、社内ソリューション各局が連携し戦略開発と実行支援のお手伝いをしてまいります。

経済のグローバル化、インターネットやモバイルの急速な普及、長期的な国内市場の縮小など、企業の経営環境は激変しています。多くの企業はそのような厳しい経営環境の中、積極的にM&Aを行ったり、新たなビジネスモデルを開発したり、ブランド強化を図ってみたいと、新たな成長のための変革として様々な企業イノベーション活動に取り組んでいます。

しかし、取り組み始めた企業イノベーション活動を成就させることは容易ではなく、これまでも「いろいろ取り組んでいるが、現場まで巻き込んで実現することはなかなか難しい」といった相談が寄せられています。

そこで、当社は、これまでのブランド・パートナーとしての実務における経験と、企業イノベーションの事例研究から、企業イノベーションを引き起こす牽引役（ドライバー）を「イノベーション・ドライバー」と定義し、その発見をコアに企業活動全般をサポートしていく戦略プログラム「電通 企業イノベーション・コンサルティング」を開発しました。

本プログラムは、長年のコミュニケーション・ビジネスで培ってきた当社の顧客インサイト力やアイデア開発力、施策実行力という強みを生かし、イノベーション戦略の開発から実行までワンストップ型のサービスをご提供していくもので、従来のビジネスコンサルティングやブランドコンサルティング領域ではカバーできない企業イノベーションに関する課題をトータル・サポートしていく新しい領域のコンサルティング・サービスです。

個別クライアント企業の経営目標達成に向け、「何が、その企業の組織全体をドライブするのか」を発見し、それを具体的企業活動施策へ落とし込む「シンボリック・アクション[®]」の開発・実行を行ってまいります。

過去の事例からは、「新商品の開発」、「新事業の開発」、「シンボル組織の立ち上げ」、「環境などの社会課題への取り組み」、「クリエイティブ・デザイン」などが「イノベーション・ドライバー」に位置付けられます。

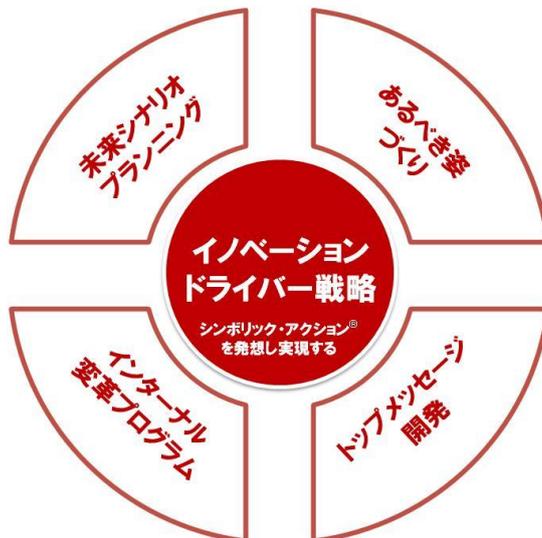
そのような「イノベーション・ドライバー」の発見、そして、「シンボリック・アクション[®]」の開発・実行により、経営意思を体現した施策が始まり、社員が企業変革を自分ごと化し、組織が動き出す、といった一連の企業イノベーションの実体化をサポートする「イノベーション・ドライバー戦略」がコアなプログラムとなっています。

さらに、この戦略の開発と実行に必要な「未来シナリオプランニング」「企業のあるべき姿づくり」「インターナル変革プログラム（社員活性化）」「トップ・メッセージ開発」といった関連する4つのプログラムも加え、計5つのプログラムにより、企業イノベーション活動全般をサポートするコンサルティングを行ってまいります。

本プログラムは、専門部隊であるストラテジック・プランニング局戦略コンサルティング室のコンサルタントに加え、企業課題への対応力を持ったストラテジック・プランナー、電通総研の研究者、クリエイター、コミュニケーション・デザイナー、電通グループの専門性をもった各社との最適な横断チームを組み、課題に応じて柔軟にカスタマイズしたメニューで、ソリューションのご提供を行います。

当社は今後、本プログラムを核としたコンサルティング・サービスなど一連のソリューションを、「心を動かすアイデアで、企業の成長をドライブする。Driving Innovation®」というスローガンのもと、クライアント企業の成長戦略を支援する実行パートナーとして、様々なサービスを提供してまいります。

【電通 企業イノベーション・コンサルティング 概要】



<コア・プログラム>

1. 『イノベーションドライバー戦略』

企業イノベーションを根拠とした成長戦略で、イノベーションを引き起こす“ドライバー”を独自の視点・発想で発見、それを具体的なアクションに落とし込み、実行をサポートします。

イノベーション・ドライバー戦略は2ステップで構成されます。

1-①「イノベーション・ドライバーの発見」

生活者発想で培った電通ならではの洞察力（インサイト）を生かして、社内外のポテンシャルをあぶり出します。そして、企業イノベーションを牽引する主要活動領域（＝イノベーション・ドライバー）を発見します。

1-②「シンボリック・アクションの開発・実行」

イノベーション・ドライバーを具体的な施策に落とし込みます。電通ならではの発想力（アイデア力）でイノベーションの初動を加速するシンボル施策を開発、社員の心に火をつけて、ムーブメントを生み出す起爆剤づくりをお手伝いします。

<サブ・プログラム>

2. 『未来シナリオプランニング』
企業環境の“未来”を大胆に洞察。
イノベーションに向けて進むべき道と、イノベーション・ドライバーの手がかりを探ります。
3. 『あるべき姿づくり』
企業が目指したい理想の姿の再構築。
イノベーションが向かう先を明らかにし、インナーの共通の夢をつくるお手伝いをいたします。
4. 『トップメッセージ開発』
“心を動かし、組織を動かす”、トップメッセージの開発。
企業の夢、あるべき姿をコミュニケーション力のあるコンテンツに変換し、企業イノベーションを大きなうねりへと拡げます。
5. 『インターナル変革プログラム』
一人ひとりをその気にさせ、自発的なイノベーションを促す社員活性化施策。

【発表に関するお問い合わせ先】

電通 コーポレート・コミュニケーション局広報部 市川、林田
TEL 03-6216-8041

【内容に関するお問い合わせ先】

電通 ストラテジック・プランニング局戦略コンサルティング室ブランドコンサルティング部 瀬谷、三谷
TEL 03-6216-8386